

1 次の文章を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

ここでは、平安時代初期の政治と文化について考えてみよう。

光仁天皇の子として生まれた桓武天皇は、政治の刷新をはかった天皇としてよく知られている。まず、都を平城京から長岡京に遷都したが、造営長官の藤原種継が暗殺されると計画は頓挫し、皇太子であった早良親王は、罪を問われ口に流される途中憤死した。その後、桓武は長岡京を捨て、平安京に遷都した。これが千年の都と称される京都のはじまりである。桓武天皇は、政治改革を進めるとともに、造都と征夷を積極的に推し進めた。

嵯峨天皇は、平城太上天皇（上皇）と対立し「二所朝廷」といわれた政治的混乱が生まれたが、蔵人所を設置するなどしてこの争いに勝利した。この根本的な原因は、律令法上、天皇と太上天皇（上皇）が同等の権利を持つことにあった。

この時期、藤原氏は皇室との姻戚関係を深めるとともに、承和の変や応天門の変で他氏を排斥し、藤原北家の地位を確立していった。こうして政権が安定してくると、天皇は父子相続となり、藤原氏が摂関の地位を占めるようになった。

一方、平安時代初期には、独特の芸術文化が開花した。とくに注目されるのは仏教文化で、現存する建造物では、台風で被害にあったものの、修理・復元されたトの五重塔がある。また、仏像彫刻では、奈良時代の十二神将像でも有名なチの薬師如来像があげられる。この時代の仏像彫刻は、神秘的な表現を持つリが特徴的である。

また、絵画では、密教にかかわる作品が知られている。このうち円珍が感得した像を描かせたとされる園城寺不動明王像は、別名ヌ不動とも呼ばれ、この時代を代表する作品である。

問A 下線部イに関連して、桓武天皇の政策として正しいものはどれか。

1. 雑徭の期間を年間40日に減らした。
2. 班田の期間を12年に改めた。
3. 公出拳の利率を2割に引き下げた。
4. 隼人を征討した。
5. 新羅遠征計画を立てた。

問B 空欄口に当てはまる地名はどこか。

1. 伊豆
2. 佐渡
3. 淡路
4. 安房
5. 隠岐

問C 下線部ハについて述べた文として誤っているものはどれか。

1. 平城太上天皇（上皇）は平城京に遷都しようとした。
2. 藤原薬子は自殺した。
3. 藤原薬子の父は藤原種継である。
4. 藤原仲成は射殺された。
5. 平城太上天皇（上皇）は自殺した。

問D 下線部ニに関連して、太上天皇（上皇）になったことのない天皇は誰か。

1. 宇多天皇
2. 嵯峨天皇
3. 聖武天皇
4. 淳和天皇
5. 桓武天皇

問E 下線部ホについて述べた文として誤っているものはどれか。

1. 伴健岑が配流された。
2. 道康親王が皇太子となった。
3. 藤原基経の陰謀と考えられている。
4. 謀反を密告したのは阿保親王であった。
5. 橘逸勢が配流された。

問F 下線部ヘに関連して、父子関係にない天皇の組み合わせはどれか。

1. 桓武－嵯峨
2. 嵯峨－仁明
3. 仁明－文徳
4. 文徳－清和
5. 陽成－光孝

問G 空欄トに当てはまる寺院はどれか。

1. 室生寺
2. 醍醐寺
3. 東寺
4. 仁和寺
5. 金剛峰寺

問H 空欄子に当てはまる寺院はどれか。

1. 神護寺 2. 唐招提寺 3. 元興寺 4. 観心寺 5. 新薬師寺

問I 空欄りに当てはまる語句は何か。

1. 金銅像 2. 塑像 3. 一木造 4. 寄木造 5. 乾漆像

問J 空欄又_ニに当てはまる語句は何か。

1. 青 2. 黒 3. 白 4. 黄 5. 赤

2 次の史料Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。なお、設問に使用しない空欄もある。

（史料Ⅰ）

六波羅殿の御一家の君達といひてしかば、（中略）肩をならぶる人なし。されば入道相国のこじうと、平大納言
卿ののたまひけるは、此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべしとぞのたまひける。（中略）日本秋津嶋は纒に
箇国、平家知行の国 余箇国、既に半国にこえたり。其外庄園田畠いくらといふ数を知ず。（中略）楊州の金、
荊州の珠、呉郡の綾、蜀江の錦、七珍万宝一として関たる事なし。

（平家物語）

（史料Ⅱ）

蒙古人 ・ に襲来し、既に合戦を致すの由、覚恵注し申す所なり、早く来たる廿日以前、安芸に下向し、彼の凶徒寄せ来たらば、国中の（中略）本所領家一円地の住人等を相催し、禦戦せしむべし。さらに緩怠あるべからざるの状、仰せにより執達件のごとし。

文永十一年十一月一日

武蔵守在判

武田五郎次郎殿

相模守在判

（東寺百合文書）

（史料Ⅲ）

堺の町は甚だ廣大にして大なる商人多数あり。此町は 市の如く執政官に依りて治めらる。

（ 年八月十七日、ガスパル＝ヴィレラ書簡）

問A 下線部イの人物についての説明として正しいものはどれか。

1. 源義親を討って勢力を伸ばした。 2. 保元の乱で源義朝と敵対し、戦った。
3. 太政大臣となった。 4. 福原京遷都の直前に死去した。
5. 娘の徳子を後白河天皇の中宮にした。

問B 空欄口に入る人名はどれか。

1. 重盛 2. 重衡 3. 宗盛 4. 時忠 5. 忠盛

問C 空欄ハに入る漢数字はどれか。

1. 四十四 2. 五十五 3. 六十六 4. 七十七 5. 八十八

問D 下線部ホは日宋貿易による利益のありさまを示している。次のa～dのうち、日宋貿易に関連する説明として正しいものが2つあるが、その組み合わせはどれか。

- a 日本からの輸出品には、金・硫黄・漆器等があった。 b 安芸国の音戸の瀬戸が開削された。
c 和泉国の大輪田泊が修築された。 d 宋が南宋になると貿易は衰えた。

1. aとb 2. aとc 3. aとd 4. bとc 5. bとd

問E 空欄へ・トに入る語句の組み合わせとして正しいものはどれか。

1. へー対馬・トー筑前 2. へー壱岐・トー筑前 3. へー対馬・トー肥前
4. へー筑前・トー肥前 5. へー対馬・トー壱岐

問F 下線部チに関連する説明として正しいものはどれか。

1. 荘園領主は、地頭請の土地からの軍事動員を促進した。
2. 幕府は、支配が及んでいなかった荘園・公領からも軍事動員をはかった。
3. 荘園領主は、下地中分された土地以外からも軍事動員をするように要求した。
4. 幕府は、守護請の土地からの軍事動員を表明した。
5. 荘園領主は、不輸不入の土地からの軍事動員を幕府に働きかけた。

問G 下線部リの人物はどれか。

1. 北条貞時 2. 安達泰盛 3. 竹崎季長 4. 北条時宗 5. 平頼綱

問H 下線部ヌに関する説明として誤っているものはどれか。

1. 大内義弘は足利義満に挑発され、ここで挙兵したが敗死した。
2. ここの商人と結んだ山名氏は、大内氏と日明貿易の主導権を激しく争った。
3. ここでは、会合衆の合議により、自治的な町政運営が行われた。
4. 織田信長は、ここの経済力に目をつけて直轄領とした。
5. ここの商人でもあった千利休は、侘茶を大成したが、豊臣秀吉に切腹させられた。

問I 空欄ルに入る都市はどれか。

1. ベニス 2. パリ 3. マカオ 4. ロンドン 5. リスボン

問J 空欄ヲには西暦が入るが、この西暦の世紀に起こった出来事はどれか。

1. 島津氏が琉球を征服した。 2. 武田信広らがアイヌの蜂起を鎮圧した。
3. 伊達政宗が支倉常長をスペインに派遣した。 4. ヴァスコ・ダ・ガマがカリカットに到達した。
5. マゼランがフィリピン諸島に到達した。

3 次の史料とそれに関連する文を読み、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

（史料）

極西 著

今の日本人が全国を鎖して、国民をして國中・国外に限らず、あえて異域の人と通商せざらしむる事は、実に所益あるによれりや否の論、（中略）かつて異国人の為に風俗をそこなわれ、財宝をぬすまる、これその通交を絶つ所以也、然らば の一件元よりこれ大に義あり、利あるの務めたり、明君頻りに起り給いて、この事決定成就し給うに至る、（下略）

江戸時代の対外関係の仕組みを表す語として、「」が使用されるようになるのは、この史料をもって初見とされる。逆にいえば、それ以前の人々は、この時代の対外関係の仕組みを「」と認識していなかったということの意味する。実際、東アジアのレベルでは貿易や交流は活発であった。

そうした交流の機会の一つが、朝鮮使節の来航である。もともと、この使節は と呼ばれ、日本からの国書（実は対馬藩による偽書）への対応と、豊臣政権による朝鮮侵略の際、日本へ連行された朝鮮人捕虜の返還を企図した使節であった。そして、日本がさらなる出兵を企図しているかどうかを探る国情視察の意図もあったとされる。その後、この使節は「信」を通じるという意味の と呼ばれ、友好を目的に来航するようになる。明暦元年（1655）の回以降は、明確に將軍襲職祝賀が目的となった。この使節には、当時の朝鮮を代表する学者や文人が随行し、 が通過する沿道では、日本の学者・文人との交流が見られた。財政難を理由に対馬にて使節を迎える儀礼を行った、文化8年（1811）の回を最後に使節派遣は停止されたが、江戸時代を通じて、この使節が日朝関係の安定に寄与したことは間違いない。

一方、「」の語が使用され始めたころ、日本列島の近海にはしばしば西洋の外国船が出現するようになった。北方で一時、ロシアとの間で緊張状態が生じたほか、長崎でも外国軍艦が侵入するなど、「」と呼ばれる状況が形成されるようになった。幕府は諸藩に海岸警備を命じるなど、外国船に対する警戒を強化したが、支配層にとってその不安が払拭されることはなかった。こうしたなかで、嘉永6年（1853）6月にアメリカ東インド艦隊司令長官ペリーが浦賀沖に現れ、幕府に開国を求めていくことになる。

問A 空欄イに当たる人物は誰か。

1. 稲村三伯 2. シーボルト 3. 志筑忠雄 4. 渡辺崋山 5. ケンペル

問B 江戸時代の空欄口という状態について、正しく説明しているものはどれか。

1. 外国船が入港する港では、人々はそこへ行けば自由に外国商人と取り引きできた。
2. 多くの藩では貿易による収益を見込めず、専売制の採用など藩政改革によって財政を補った。
3. 宗門改制度が成立したのは、空欄口の語が使われ始めた後である。
4. 空欄口の状態は、この時代が終わるまでは、幕府にとって否定されるべきものであった。
5. 江戸時代の人々は、ヨーロッパの思想に触れる機会はなかった。

問C この史料の大意として、ふさわしいものはどれか。

1. 日本はこれまで東アジアの諸国と密接な関係を保ってきた。
2. 日本は南蛮人を通じて、東アジア諸国と中継貿易を行っていた。
3. 日本は外国人との間で通商関係を結ばなかったため、外国の新しい知識が入ってこなかった。
4. 日本がこれまで外国人との間で通商関係を結ばなかったのは、利のあることであった。
5. 日本が外国人のために風俗をそこなわれたことは、かつてなかった。

問D 下線部ハの窓口として、当てはまらないものはどれか。

1. 新潟
2. 松前
3. 対馬
4. 長崎
5. 鹿児島

問E 空欄ニと空欄ホに入る語の組み合わせとして、正しいものはどれか。

1. ニー回答兼刷還使 ホー謝恩使
2. ニー回答兼刷還使 ホー通信使
3. ニー慶賀使 ホー回答兼刷還使
4. ニー慶賀使 ホー通信使
5. ニー慶賀使 ホー謝恩使

問F 下線部ヘに関連して、17世紀末期から18世紀前期にかけて対馬藩の儒者として重要な役割を果たした人物は誰か。

1. 雨森芳洲
2. 木下順庵
3. 熊沢蕃山
4. 野中兼山
5. 伊藤仁斎

問G 下線部トはその後しばらくして緩和された。日本・ロシア関係の緊張状態が解消される契機となった事件の、当事者の組み合わせとして、正しいものはどれか。

1. グローニン・高田屋嘉兵衛
2. ラクスマン・間宮林蔵
3. レザノフ・近藤重蔵
4. グローニン・間宮林蔵
5. レザノフ・高田屋嘉兵衛

問H 下線部チは、どこの船を追って長崎湾に入港してきたか。

1. イギリス
2. アメリカ
3. オランダ
4. ロシア
5. 日本

問I 空欄リに入る語としてふさわしいものはどれか。

1. 攘夷
2. 内憂
3. 外患
4. 尊王
5. 善隣

問J 下線部ヌを契機に実施された安政の改革について、誤っているものはどれか。

1. 阿部正弘が中心となって行われた。
2. 徳川斉昭が幕政に参加した。
3. 江戸湾に台場が築かれた。
4. 五品江戸廻送令が発令された。
5. 大船建造の禁が解かれた。

4 次の史料Ⅰ・Ⅱを読んで下記の設問（A～J）に答えよ。

（史料Ⅰ）

明治三十八年九月五日の焼打は、日本の歴史に記憶せらるる日であると同時に、予一個の歴史にも、記憶すべきであらう。ことに『国民新聞』の歴史に取っては、重大の出来事であった。それは『国民新聞』が、戦時中折角築き上げたところの地盤を、これがためにほとんど根底から顛覆えし去られんとしたからだ。〔中略〕

さて世間からは緞帳芝居、三日内閣といわれたる桂内閣は、種々の運命を経つつも、内閣あってより以来—明治十八年十二月、伊藤公が内閣を組織して以来—歴代の内閣中、ほとんど比類無き程、長き寿命を保った。（「蘇峰自伝」）

（史料Ⅱ）

あにただ兄玉源太郎のみならんや。日露戦争の終局に当りて、一種の悲哀、煩悶、不満、失望を感ぜざりし者幾人かある。

我らをして自白せしめよ。我らは北方の巨人を恐れたり。彼を悪めり。遼東還附以来は彼を不倶戴天の仇と睨めり。機会もあらば一太刀怨みんと齒を喰いしばれり。日露戦争の発端いづれにあるを問うをやめよ。当初より彼は割合に呑気

にて、我は必死の覚悟なりき。わが憤怨は強く、わが頭腦の回転は彼よりも素早し。戦は始まれり。[中略] 勝利、勝利、大勝利。しかして後彼の講和談判。

今日に於て旧創をあばくは烏澁のわざなり。然れども彼の講和当時に於ける日本国民の心的情態はむしろ研究に値せざらんや。彼の講和に関する騒擾を以て、単に失業者の乱暴、馬鹿騒ぎと看做し去るはあまりに浅薄なり。

(徳富蘆花「勝利の悲哀」)

問A 下線部イに関する記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. これに呼応して立憲国民党、立憲政友会が憲政擁護の運動を起こした。
2. 東京市およびその周辺部に戒厳令がしかれた。
3. 警察署、内務大臣官邸、政府系の新聞社などが襲撃された。
4. 日比谷公園で開かれた講和反対の国民大会が一因となった。
5. 暴動は各地に飛び火し、全国で70万人が参加する大規模なものとなった。

問B 下線部ロに関する記述のうち、正しいものを2つマークせよ。

1. 自由党の機関紙として発刊された。
2. 娯楽的な読み物に力を入れ、硯友社の作家による活動の場となった。
3. 1890年に日刊紙として発刊された。
4. 日清戦争後は、山県有朋・桂太郎との政治的つながりを深めた。
5. 日露戦争開戦時には、非戦論を唱えた。

問C 下線部ハの第1次桂太郎内閣の間に起こった出来事として、誤っているものを2つマークせよ。

1. 日英同盟協約の締結
2. 第1次日韓協約の締結
3. 治安警察法の公布
4. 第2次日韓協約の締結
5. 文官任用令の公布

問D 下線部ニの第1次伊藤博文内閣に関する記述のうち、正しいものを2つマークせよ。

1. 保安条例を公布し、多くの在京の民権派を東京から追放した。
2. 文官任用令を改正し、高級官僚に資格規定を設けた。
3. 皇室事務や華族の管理を担当する宮内省を閣外に設置し、伊藤が宮内大臣を兼任した。
4. 議院法、衆議院議員選挙法、貴族院令を公布した。
5. 外相陸奥宗光によって、日英通商航海条約の調印が行われた。

問E 下線部ホの人物に関する記述のうち、正しいものを2つマークせよ。

1. 日清戦争時、陸軍大臣をつとめた。
2. 台湾総督をつとめ、民政局長に後藤新平を登用した。
3. 日露戦争時、満州軍総参謀長をつとめた。
4. 伊藤博文の後継として立憲政友会総裁となった。
5. 南満州鉄道初代総裁に就任した。

問F 下線部への遼東半島に関する記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. ロシア、フランス、ドイツによる返還勧告により、清に返還された。
2. ロシアが半島の南部に当たる旅順・大連地域を清から租借した。
3. ロシアの旅順・大連地域の租借権を日本が譲り受けた。
4. 旅順の関東総督府が大連に移され、関東都督府とされた。
5. 二十一カ条の要求により、租借の期限を50年間に延長した。

問G 下線部トに到る記述に関して、正しいものを2つマークせよ。

1. 対露同志会は対外硬同志大会を開催して、対露強硬論を主張した。
2. 結成された平民社は日刊『平民新聞』を発刊し、日露非戦論を展開した。
3. 与謝野晶子は『太陽』に「君死にたまふこと勿れ」を表題とする反戦詩を、発表した。
4. 戸水寛人ら七博士は対露強硬論の意見書を桂太郎首相、小村寿太郎外相らに提出した。
5. 『時事新報』に勤めていた内村鑑三は同紙が主戦論に転じると、非戦論の立場から同社を去った。

問H 下線部チに関して、日露戦争に該当しないものを2つマークせよ。

1. 鴨緑江の戦い
2. 奉天会戦
3. 平壤の戦い
4. 遼陽の会戦
5. 黄海の海戦

問I 下線部リに関する記述のうち、誤っているものを2つマークせよ。

1. 日本はロシアから東清鉄道南部線のうち、長春から大連間の鉄道と付属権益を譲り受けた。
2. ロシアは沿海州と間宮海峡における日本の漁業権を認めた。
3. 日本は賠償金の要求を放棄した。
4. ロシアはサハリン島の北緯50度以南の譲渡を認めた。
5. ロシアは、日本の韓国に対する指導・監督権を認めた。

問J 下線部ヌに関する記述のうち、日露講和条約調印以後の出来事として正しいものを2つマークせよ。

1. 社会主義協会に対する結社禁止命令
2. 友愛会の設立
3. 平民社の解散
4. 労働組合期成会の設立
5. 社会主義研究会の設立

5 次の文章I・IIを読んで、下記の設問(A～J)に答えよ。

I 1880年代半ばに通貨制度が確立されてデフレが収束すると、繊維産業部門を中心として工業化が急激に展開し始めた。紡績業は早くも1890年代に内外市場で十分な競争力をもつようになり、製糸業も世界市場に急速に進出していった。

この間に豊富な地下資源の開発も進んだ。この鉱山部門を中心的に担ったのは、払い下げを受けた政商たちであった。工業化途上の日本国内においてエネルギー需要や金属需要は限られていたので、産出された石炭や銅は輸出に向けられ、重要な外貨獲得商品となった。

軽工業、鉱山業が早期に成長したのに対し、重工業部門の発展は遅れていた。十分な資本蓄積を持たない後発国において、初期投資が巨額で、技術水準のギャップも大きく投資リスクが高い重工業部門に、民間の自発的な投資を期待するのは困難であった。そのため政府は日清戦後に軍需関連の造船業などに奨励策を講じるとともに、重工業化の素材的な基礎を提供する鉄の自給化を進めるため、官営八幡製鉄所を設立した。

重工業育成政策は日露戦後も引き続いて実施され、その財源は増税や外債発行などで賄われた。育成策は一定の成果をあげたものの、機械や鉄鋼などの重工業部門が十分な国際競争力を確保し、貿易収支を大きく改善させるには至らなかった。他方で、外債の累積は育成策の財源となる追加の募債を困難にし、また外債に対する利払いが国際収支を圧迫するなど、日露戦後の経済状況は次第に危機的様相を深めていった。

問A 下線部イに関連して、明治期の綿業（紡績業、綿織物業）について述べた文として正しいものを1つマークせよ。

1. 1890年には綿糸生産量が輸入量を上まわり、海外市場でも競争力を確立した。
2. 渋沢栄一らが設立した大阪紡績は、蒸気機関、国産紡績機を利用して成功をおさめた。
3. 国内綿織物は安価な輸入綿糸の利用などにより輸入綿織物に対抗し、市場を回復していった。
4. 大紡績会社の設立が進んだが、国内綿糸市場ではガラ紡の優位が続いた。
5. 日清戦後になると、多くの大紡績会社が力織機を利用して織布を兼営するようになった。

問B 下線部ロに関連して、明治期の絹業（製糸業、絹織物業）について述べた文として正しいものを1つマークせよ。

1. 日本の生糸輸出は急速に拡大し、明治末にはフランスに次ぐ世界第2位の生糸輸出国となった。
2. 器械製糸の技術は群馬などの旧座繰製糸地帯を中心に広まっていった。
3. 製糸「工女」は低賃金、昼夜二交代制という厳しい労働条件の下に置かれていた。
4. 日本の生糸輸出はアメリカ市場に対する依存を強めていった。
5. 生糸を原料として国内市場向けの羽二重生産がさかんに行われるようになった。

問C 下線部ハに関連して、「政商」と払い下げられた鉱山との組み合わせとして正しいものを1つマークせよ。

1. 三井－高島炭鉱
2. 三菱－別子銅山
3. 古河－阿仁銅山
4. 住友－生野銀山
5. 久原－足尾銅山

問D 下線部ニに関連して、日露戦後の重工業について述べた文として誤っているものを1つマークせよ。

1. 三菱造船所などの造船技術が世界水準に追いついた。
2. 八幡製鉄所は安価な大冶鉄山の鉄鉱石を原料として生産規模を拡張した。
3. 池貝鉄工所が世界水準の精度をもつ旋盤を完成させた。
4. 日本製鋼所など民間の鉄鋼メーカーがあいついで設立された。
5. 造船業振興のために、兵庫造船所を三菱に払い下げた。

問E 下線部ホに関連して述べた文として誤っているものを1つマークせよ。

1. 原料繭が国内で自給されていたため、製糸業は最大の外貨獲得産業であった。
2. 貿易赤字を外債募集による資本の受け取りで補うという構造が成り立たなくなっていった。
3. 綿業部門は綿布輸出の増大によって外貨獲得産業に転換していった。
4. 軍需品や重工業関連資材の輸入が増加し、貿易収支を圧迫した。
5. 綿布の移出や砂糖・米などの移入が増加し、台湾、朝鮮など植民地への経済的な依存が強まった。

II 重化学工業化が本格的に進んだのは1930年代の高橋財政期であった。犬養毅内閣の大蔵大臣となった高橋是清は、就任後ただちに金輸出を **a** した。これを承けて円相場は大幅に **b** し、アジア市場に対する **c** 輸出が大きく増加した。

他方、高橋は恐慌下の財源不足を赤字国債発行によってカバーし、**ト** 費・時局匡救事業費を中心に財政支出を増加させた。この拡張的財政と為替、金利政策とのポリシー・ミックスを通じて、日本は先進資本主義国の中でも早く恐慌から脱出することに成功した。**ト** 費の継続的な増加は機械や金属など重工業の躍進をもたらし、また保護政策の下で化学工業も大きく発展した。

重化学工業部門に積極的に進出したのが新興財閥であった。日産コンツェルンは自動車などの機械工業を中心に発展し、後に国外に拠点を移して **チ** の重化学工業を支配下に置いた。日窒は化学肥料部門を軸に発展し、さらに **リ** 北部に進出して水力発電による化学コンビナートを建設した。鉄鋼業では官民の大同業によって **ヌ** 会社が設立され、鉄鋼の自給化が進展した。こうした発展の結果、重化学工業部門の生産額は1930年代末には軽工業を上まわるようになった。

問 F 下線部への空欄 a～空欄 c に該当する語句の組み合わせとして正しいものを 1 つマークせよ。

1. a 解禁 b 上昇 (円高) c 綿織物
2. a 禁止 b 上昇 (円高) c 生糸
3. a 解禁 b 下落 (円安) c 生糸
4. a 解禁 b 上昇 (円高) c 生糸
5. a 禁止 b 下落 (円安) c 綿織物

問 G 空欄トに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字 2 字で記せ。

問 H 空欄チに該当する地域を、記述解答用紙の解答欄に漢字 2 字で記せ。

問 I 空欄リに該当する地域を、記述解答用紙の解答欄に漢字 2 字で記せ。

問 J 空欄ヌに該当する社名を、記述解答用紙の解答欄に漢字 4 字で記せ。

6 次の文章を読んで、下記の設問 (A～I) に答えよ。

終戦後のインフレを抑制するための経済安定九原則を具体化したドッジ＝ラインの実施によって、日本経済は深刻な不況に見舞われた。中小企業の倒産が増大し、多くの企業で人員整理が行われ、失業者が増加した。共産党・産別会議や国鉄労組などの労働側の抵抗も激化したが、1949年に起きた下山事件、**a** 事件、松川事件の影響もあり、労働側は大きな打撃を受けた。

朝鮮戦争が勃発すると、軍需物資や自動車修理など、アメリカ軍の特殊需要や、国際的な軍需景気による輸出増加により、日本経済は急速に回復した。国家資金が重点産業に投入されたため、電力、造船、鉄鋼などの部門が活発に生産を行い、1952年には日本は IMF (国際通貨基金) 及び **b** へ加盟することになった。1955年以降は、米の大豊作が続き、食糧不足も解消され、1955年から1973年までの20年近くの間、経済成長が続いた。

年平均経済成長率が10パーセントを超える高度経済成長期には、企業の膨大な設備投資によって、多くの産業部門で設備の更新がなされ、また技術革新も進んだ。1955年頃から始まる生産性向上運動は、生産過程だけでなく、品質管理や労務管理、流通や販売の分野にも及んだ。この過程で、「終身雇用」「年功賃金」「労資協調」を特徴とするいわゆる 日本的経営が確立した。日本製品は、**c** 制による安定した国際通貨体制、安価な資源の輸入に支えられ急速に拡大し、海外へ輸出された。輸出の中心は、鉄鋼・船舶・自動車などの重化学工業製品であった。

1960年には「貿易為替自由化大綱」が決定され、日本は1963年に G A T T (関税及び貿易に関する一般協定) 11条国に移行した。また翌年には、IMF 8条国に移行するとともに、OECD (経済協力開発機構) に加盟し、為替と資本の自由化が実施された。国際競争の激化に備えるため、財閥解体で分割された三菱重工が再合併、八幡製鉄と **d** 製鉄が合併して新日本製鉄を創立するなど、企業の大型合併も進み、六大都市銀行が系列企業への融資を通じて企業集団を形成するなど、企業集団内の情報共有や株式の持ち合いなどが行われた。こうして多くの国民の生活水準が向上したが、同時にそれまでの 生活の仕方にも様々な変化があらわれた。

問A 空欄 a に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字 2 字で記せ。

問B 空欄 b に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字 4 字で記せ。

問C 空欄 c に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字 4 字で記せ。

問D 空欄 d に該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字 2 字で記せ。

問E 下線部イに関する記述として誤っているものを 1 つマークせよ。

1. 第 2 次吉田内閣の時に実施された。
2. 1 ドル=360 円の単一為替レートが設定された。
3. ドッジは、デトロイト銀行の頭取であった。
4. 同年、直接税・所得税を中心とするシャープ勧告が採用された。
5. 赤字を許さない国家予算により、財政支出が削減された。

問F 下線部ロの期間に起こった出来事として誤っているものを 1 つマークせよ。

1. 公職追放令が廃止された。
2. サンフランシスコ平和条約が締結された。
3. 日印平和条約が締結された。
4. 日ビルマ平和条約が締結された。
5. 日華平和条約が締結された。

問G 下線部ハに関して、この間の景気拡大期の序列について、正しいものを 1 つマークせよ。

1. 神武景気－岩戸景気－いざなぎ景気－オリンピック景気－列島改造ブーム
2. 神武景気－岩戸景気－オリンピック景気－いざなぎ景気－列島改造ブーム
3. 岩戸景気－神武景気－いざなぎ景気－オリンピック景気－列島改造ブーム
4. 神武景気－岩戸景気－オリンピック景気－列島改造ブーム－いざなぎ景気
5. 岩戸景気－いざなぎ景気－神武景気－オリンピック景気－列島改造ブーム

問H 下線部ニについて、このとき確立された日本的経営は、現在まで続く低賃金で雇用保証のない非正規社員（非正規労働者）の増加に影響している。その原因と考えられることを、記述解答用紙の解答欄に 30 字以内で記せ。なお、句読点も 1 字として数えよ。

問I 下線部ホに関して、誤っているものを 1 つマークせよ。

1. 京葉・京浜・中京・阪神・瀬戸内・北九州の太平洋ベルト地帯が出現し、産業と人口が集中した。
2. 各地で起きた公害訴訟のうち、四大公害訴訟とは、水俣病、イタイイタイ病、新潟水俣病、四日市ぜんそくのことをいう。
3. 一組の夫婦と少人数の子どもで構成される核家族化が進んだ。
4. 各地でニュータウンが建設されたが、第一号は東京の多摩ニュータウンである。
5. 「新三種の神器」とは、カー（自動車）、クーラー、カラーテレビのことである。

[以下余白]